

当翻訳は、法務省入国管理局による仮訳であり、正確には原文に当たってください。
また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。



出身国情報主要文書

ウガンダ

2007 年 10 月 16 日

Border and Immigration Agency
COUNTRY OF ORIGIN INFORMATION SERVICE

目次

1. 序文.....	3
2. ウガンダに関する背景情報.....	5
地理	5
最近の歴史	5
最近のできごとと政治的動向	6
北部ウガンダ	7
基礎的経済データ.....	7
人権	8
AIDS / HIV	9
ウガンダの AIDS 組織	9
医学的介入	9
予防法	11
代替療法	12
Global Fund の最新事情	12
同性愛者	12
ウガンダにおける同性愛の非合法性	12
同性愛者の逮捕	13
裁判所における証拠の量	13
同性愛者の自己決定権と暴露	13
3. 主要な原始文書の索引	15
主なデータと地理	15
地図	15
歴史	15
政治と最近の動向	16
人権ー一般	16
人権ー具体的な問題点	17
児童	17
北部ウガンダの紛争	17
死刑	17
民族集団	17
宗教の自由	18
言論とメディアの自由	18
人権擁護の団体、組織、および活動家	18
国内難民 (IDP)	18
司法	18
同性愛者、両性愛者、およびトランスジェンダー	19
医学的な問題点	19
軍隊	20
政治的所属	20
刑務所の状況	20
治安部隊	20
テロリズム	20
女性	21
4. 参考となる原資料.....	22

1. 序文

- i この出身国情報(COI)主要文書は、亡命／人権の判定プロセスに関与する職員が使用するために、Country of Origin Information Services によって作成された。英国でなされる亡命・人権請求で最も一般的に提起される問題点についての一般的な背景情報を示すものである。COI 主要文書には、2007 年 10 月 16 日までに利用可能であった情報が含まれている。
- ii COI 主要文書は、広く認められている、広範囲にわたる外部の情報源が作成した主な報告書、論文や記事の、索引付きの一覧であるが、内務省の見解または方針は含まれていない。
- iii 内務省内の利用者が本文書を利用する際には、索引と情報源リストに示されている情報源番号に張られたリンクを通じて、文書において言及されている各情報源に直接、電子的にアクセスすることができる。外部の利用者のために、該当のウェブ上のリンクも、リンクへのアクセスの日付と共に含まれている。
- iv 上述の通り、特定される文書は主に人権問題に集中している。序論として、ウガンダに関する簡単な背景情報も示されている。この背景資料は、一覧になっている主要文書に含まれている資料の要約を示すことを意図したものではないことに留意されたい。
- v この COI 主要文書と一覧表になっている文書は、一般に開示することのできるものである。
- vi この COI 主要文書に関するご意見、または追加文書に関する提案は大いに歓迎されるものであり、内務省の以下の連絡先に提出されたい。

Country of Origin Information Service

Home Office
Apollo House
36 Wellesley Road
Croydon CR9 3RR
United Kingdom

Eメール: cois@homeoffice.gsi.gov.uk

URL: http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country_reports.html

国家情報に関する諮問パネル

独立の Advisory Panel on Country Information は Nationality, Immigration and Asylum Act 2002 に基づき、内務省の出身国情報資料の内容について内務大臣に提言を行うために設立された。Advisory Panel は、内務省の出身国情報の資料に対するあらゆるフィードバックを歓迎する。同 Panel の職務に関する情報は、同 Panel のウェブサイト (www.apci.org.uk) に掲載されている

内務省の資料または手続きを是認することは、Advisory Panel の職務ではない。Advisory Panel はその職務の遂行過程で、選別された内務省の COI 文書

の内容を直接に査閲するが、この査閲が実行されたという事実も、示された意見も、資料に対する是認を暗示するものと解釈してはならない。Advisory Panel が検証する資料の一部は、Non-Suspensive Appeals (NSA) (訳注：亡命申請が却下されたら申請人は本国に送還され、再審査請求のプロセスは英国の国外からしか行えない) のリストに指定されているか、指定が提案されている国に関係している。このような場合、Advisory Panel の職務は、ある特定の国を NSA に指定するという決定または指定案に対する是認を暗示するものとも、NSA プロセスそのものを是認するものとも解釈すべきではない。

Eメール: apci@homeoffice.gsi.gov.uk

URL: www.apci.org.uk

[Return to Contents](#)

2. ウガンダに関する背景情報

正式国名: ウガンダ共和国

面積: 241,038 平方キロメートル (93,072 平方マイル)

人口: 2,760 万人 (国連、2005 年)、30,262,610 人 (2007 年 7 月の推定値) [8a]

首都: Kampala (人口 120 万人)

国民: 部族数は 20 を上回る。Baganda (17%)、Banyankole (8%)、Basoga (8%)、Iteso (8%)、Acholi、Lango など。アジア系と欧州系の小規模なコミュニティがある。

言語: 英語が公用語。Swahili 語と Luganda 語が広く話されている。

宗教: キリスト教、少数派だが、イスラム教徒がかなりいる。

通貨: ウガンダ・シリング (Ush)

国家元首: Yoweri Museveni 大統領 (2006 年 2 月に選出)

首相: Apolo Nsibambi 教授

外相: Sam Kutesa

国際機構／機関への加盟: East African Community (EAC)、Common Market for Eastern and Southern Africa (COMESA)、African Union (AU)、英連邦、国連 (UN)、Intergovernmental Authority on Development (IGAD) — ウガンダは 2003/5 に議長を務めた。[4a] (FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

[Return to Contents](#)

地理

「ウガンダは、中央アフリカの赤道にあり、陸地に囲まれた国である。スーダン、コンゴ民主共和国、ルワンダ、タンザニアおよびケニアと国境を接している。国土の 20% は内陸湖であり、その他は熱帯雨林からサバンナまでの幅があり、西側国境は山岳となっている。気候は熱帯気候である。」[4a] (FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

[Return to Contents](#)

最近の歴史

「ウガンダは 19 世紀の Buganda 王国から発展し、1894 年に英国の保護領となった。1896 年には保護領が伝統をもつ他の諸王国に拡大され、1914 年には国の他の部分が中央政権のもとに制圧された。英国の政権は間接統治の原則に従ったが、この原則には、Baganda 族の自治という特別措置が含まれていた。1945 年以降は、政府におけるアフリカ人の代表者が着実に増えた。このことは、Baganda 族の中での伝統主義者と分離主義者からの若干の抵抗に遭った。ウガンダは 1962 年 10 月、Baganda およびその他の諸王国の自治を守る憲法のもとで独立した。Uganda People's Congress (UPC) の指導者、Milton Obote が首相に選ばれ、Kabaka (Buganda 国王) が執行力をもたない大統領となった。」[4a] (FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「Obote は 1966 年に Kabaka と対立した。新しい中央集権的憲法により、諸王国と君主制度は権力を剥奪された。1971 年に Obote は軍事クーデターで失脚した。その後 Idi Amin が残忍な独裁制を確立して、それが 1979 年まで続いた。この独裁制は最終的に、タンザニアからの軍事援助によって排除された。1980 年に俄仕立ての選挙により、Obote の UPC が権力の座に返り咲いたが、この負託には異論があった。「Obote II」は軍の支持に大いに依存し、じきに、Yoweri Museveni の National Resistance Army (NRA) に対する野蛮なゲリラ戦に巻き

込まれるようになった。Obote政権は 1985 年の軍事クーデターで転覆された。Tito Okello 将軍が短命の軍事評議会を設けたが、1986 年 1 月に NRA が Kampala を占拠して、Museveni が大統領の座に据えられた。戦争により、100 万人のウガンダ人が命を落とし、200 万人が家を追われて難民となり、50 万人が重傷を負い、経済は壊滅した。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

[Return to Contents](#)

最近の出来事と政治的動向

「1986 年以降のウガンダの政治がもつ重要、かつ異論の出る特徴は、いわゆる「無党制」の政治制度、すなわち国民抵抗運動システムであった。ウガンダの 1995 年憲法は政治参加と投票について定めているが、政党が候補者を後援することを禁止した。2000 年の国民投票は投票率が低く、複数政党支持派が主張を提示する機会に限られていたが、投票者の 91% が国民抵抗運動システムの継続に賛成した。Museveni は 1996 年の選挙で投票の 74% を、また 2001 年には 69% を獲得した。2001 年の選挙は暴力と脅しによって妨害された場所があり、Museveni の主な政敵であった Kizza Besigye 博士はその後同国を去って、南アフリカで 4 年間を過ごした。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「2001 年以降、ウガンダでは複数政党民主主義に対する要求がさらに根強くなった。2005 年 7 月には政治制度に関する決定のためにさらに国民投票が行われた。今回、政府は変革を支持し、複数政党制度の回復への賛成票、92% を得票した。反対派は国民投票をボイコットし、投票率は低かった(47%)。議会の 2005 年 8 月の議決で、大統領の任期は 2 期までという、憲法で定められている規定が廃止され、無期限の任期が認められた。これにより Museveni は、1980 年以来はじめて行われた 2006 年 2 月の複数政党選挙に再出馬して、投票の 59% を獲得した。次点であった Kizza Besigye 博士の得票率は 37% であった。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「Besigye は 2005 年 10 月に南アフリカでの亡命生活からウガンダに帰国した。彼がその 3 週間後に反逆罪と強姦罪で逮捕されたことは、Kampala とウガンダ国内の各地の街路での暴力的な抗議につながった。Besigye は拘留中に Forum for Democratic Change (FDC) の大統領候補に指名された。2006 年 1 月 2 日には保釈され、高等裁判所で刑事告発の被告となると同時に、FDC の代表として、また自ら大統領候補としての選挙戦を行うことを余儀なくされた。Besigye ほどの有力な反対派を逮捕、拘留し、選挙集会を妨害したり、国家資源への平等なアクセスを認めなかったりしたことは、選挙プロセスについて若干の懸念を引き起こした。EU の監視団と英連邦のオブザーバーグループは、選挙プロセスにおける大きな欠陥を特定したものの、選挙は国民の意志を表していると結論した。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「複数政党制度への転換を見越して、複数の政党がすでに現れていた。National Resistance Movement Organisation (NRM(O)) は以前からの組織が装いを新たにしたものであり、1986 年以前の政党であった Uganda People's Congress (UPC)、Democratic Party (DP) や Conservative Party (CP) は衰退しており、Forum for Democratic Change (FDC) が出現して、現在では主要野党となって、37 の議席を得ている。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「野党と政府の間に、特に PRA と呼ばれる反乱グループへの関与が疑われる人々に対する継続審理に際しての裁判手続きの独立の壊滅をめぐる緊張が生じた。2007 年 1 月 31 日に野党議員は司法制度に対する政治の介入をめぐる、議会審議への参加を 3 週間にわた

って中断し、2007 年 3 月には判事と弁護士が抗議のストライキを行った。PRAの容疑者数名は現在、こうした裁判は非合法であるとする憲法裁判所の判断にもかかわらず、軍事法廷での告発に直面している。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

北部ウガンダ

「Lord's Resistance Army(LRA)は北部ウガンダのAcholi地区で 20 年間にわたって反乱を起こしてきた。この反乱には、多くの場合彼らの大義を支持しないことに対する処罰として、地元のAcholi族とLango族住民に対する残虐行為という残忍な軍事行動が伴った。北部ウガンダのGulu、Kitgum、Pader地区の人口およそ 170 万人はいまなお国内難民キャンプに暮らしているが、この数ヵ月間は治安状態が若干高まっている。LRAに対して続けられたウガンダの軍事行動は、紛争を終わらせることに失敗した。2005 年 10 月に国際刑事裁判所はLRAの指導者 5 名に対して逮捕状を出した。LRAの大多数は現在、DRC(コンゴ民主共和国)と南部スーダンに本拠を置いている。2006 年 5 月に南部スーダン政府が、LRAとウガンダ政府の間の仲介を買って出た。ウガンダ政府とLRAの和平交渉は南部スーダンのJubaで続いている。数々の後退や長期にわたる遅れは出ているものの、モザンビークのJoachim Chissano元大統領が国連事務局長の特使に任命されたことに助けられて、断続的な対話が続いてきた。2006 年 8 月 26 日には停戦協定の調印が行われ、2007 年 5 月 2 日には第二次協定の調印が行われた。対話のもろさは相変わらずであるが、永続的な平和的解決への望みを与えている。2006 年中には、北部ウガンダのKaramoja地方でも暴力がエスカレートした。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

[Return to Contents](#)

基礎的経済データ

GDP: 92 億米ドル(2005 年)

1 人当たり国民総所得: 341 米ドル(2005 年)

年間成長率: 5.3%(2005 年)

インフレ率: 6.6%(2005 年)

為替レート: 1,850Ush=1 米ドル

主要産業: 農業(コーヒー、茶、魚、生花、タバコ)、鉱業、建設、製造、繊維

主要貿易相手国: ケニア、英国、南アフリカ、インド

「ウガンダの経済は近年好調で、1998 年から 2003 年にかけての年間成長率は平均で 6% である。マクロ経済の安定と自由主義的な経済政策を維持することによって、ある程度、多国籍企業からの投資や援助国からの支援を取り付けることができたのである。GDP はいまなお成長しているが、ミレニアム開発目標の貧困削減目標を達成するのに必要な水準(年率でおよそ 7%)を下回っており、現在のエネルギー危機はこのペースをさらに遅らせる可能性がある。行政支出が予算に占める割合(18%程度)はいまだに大きすぎて、十分な歳入の徴収は引き続いて困難である。汚職を縮小するという政府のこれまでの公約は、公衆衛生キャンペーン用の資金の着服に関与したかどで 2007 年 5 月に元保健相 3 人が逮捕されたにもかかわらず、勢いが衰えているようである。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「ウガンダは貧困削減を大幅に進め、1992 年から 2002 年にかけて、貧困ラインを下回る生活をしている国民の割合が 56%から 38%に低下するという成果を達成した。小学校の入学率は 62%から 86%に上昇し、教育のミレニアム開発目標を達成する軌道にウガンダを乗せたが、退学率には問題がある。保健指標が向上して HIV/AIDS への取り組みは大いに成功

し、妊娠中の母親の罹患率は 1990 年代初頭には 20%であったが、2002 年には 6%に低下した。しかしウガンダにはその他に数多くの課題があり、人口増加率が高く、アフリカで最も高い国の一つに数えられることもこの課題に含まれている。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

「ウガンダは、1998 年にHIPC(重債務貧困国)の債務救済を受けた初めての国で、2,000 年 4 月に完了時点に達した。債務救済は現在、年間約 1 億ドルである。金利と輸出収入予想額の低下により、カギとなる債務輸出比率は 150%から 300%程度に上昇したが、債務返済比率が国内所得に占める割合(およそ 10%)は、臨界基準を大きく下回っている。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

[Return to Contents](#)

人権

「ウガンダの人権記録は、Museveni が 1986 年に政権の座に就いてから大いに向上した。現在でも合理的に見て自由なメディアがあるが、この自由は政府が国益との対立を感知すると縮小されることがある。活動的な市民社会団体もある。不法な拘留、拷問や政治的な動機をもつ嫌がらせの申し立てなど、警備機関による貧弱な警察活動や疑わしい活動を含めて、法治の問題が残っている。Kampala におけるデモは、保安部からの残忍な対応に遭った。司法は独立していることを自ら証明し、政府に対して大いに批判的であるが、強い政治的圧力を受け、保安部からの恫喝の高まりに直面した。人権侵害の最悪の事例は、一般大衆が反逆者や軍から十分な保護を受けていない北部ウガンダで発生している。ウガンダの軍は、Karamoja 地方でも、人権を侵害しているという非難を受けた。』[4a](FCO Country Profile: Uganda, August 2007)

2006 年 1 月から 12 月までを扱っている Amnesty International(AI)の 2007 年度年次報告書は、次のような懸念を表明した。

- 司法の独立
- 表現の自由に対する攻撃
- 北部ウガンダにおける紛争
- 拷問の実行
- 成人女性と女子に対する暴力
- 死刑の実行[3a](Amnesty International, 2007 report)

2007 年 3 月 6 日に公表された米国国務省の 2006 年人権報告書(ウガンダ)は、人権侵害について次のようにまとめている。

「政府の人権記録は依然として低調である。少数の分野では改善があったものの、以下を含めた重大な問題が残っていた。

- 治安部隊による司法外に処刑
- 失踪
- 治安部隊による容疑者への拷問と虐待の実行
- 自警団による裁判
- 刑務所の厳しい状況
- 公務員の刑事免責
- 恣意的な逮捕

- 外部との連絡を絶たれる隔離と長期にわたる未決拘留
- 公正な裁判を受ける権利、および言論、報道、結社の自由に対する制限
- 宗教の自由の限定
- 国内難民 (IDP) に対する虐待
- 野党に対する制限
- 選挙での暴力と反則
- 政府の汚職
- 女性に対する暴力と差別
- 女性器切除 (FGM)
- 児童に対する暴力と虐待、特に性的虐待
- 人身売買
- 障害者に対する暴力と虐待
- 児童によるものを含めた強制労働、ならびに児童労働」[2a](US State Dept report for 2006)

[Return to Contents](#)

AIDS / HIV

ウガンダで HIV に感染している人の数は UNAIDS により、85 万人から 120 万人と推定されている。[9a] HIV/AIDS にかかっている児童の人数に関して、2007 年 5 月 20 日付の Africa News のある記事は、ウガンダの AIDS 孤児の人数を 170 万人とした上で、次のように付け加えている。

「この内、ウガンダには HIV にかかって暮らしている児童がおよそ 15 万人いる。この場合に成人に責任がある、というのは、児童の感染の 90% が母子感染 (MTCT) によるものであるのに対して、輸血、注射、事故や性的虐待 (陵辱や強姦) などのリスク要因によるものは 10% だからである。2006 年統計省によれば、ウガンダでは毎年 MTCT によって 2 万人の児童が HIV に感染している。」[28a]

ウガンダの AIDS 予防組織 AIDS Organisations in Uganda

ウガンダ AIDS Commission が、政府による HIV と AIDS の感染予防のキャンペーンの先頭に立っている。[18c]

医学的介入

ウガンダのマスコミは、HIV ワクチンテストの 10 周年を記念して、ウガンダの現状を振り返った。2007 年 5 月 17 日付の Africa News の記事は、現在ウガンダで実施されている以下のイニシアチブに触れた。

「ウガンダが HIV ワクチンの研究により多くの努力を注ぐのと同様に、世界中の数カ国も同じことをした。ウガンダには HIV のワクチン研究で、International Aids Vaccine Initiative (IAVI)、Makerere University—Walter Reed Project (MUWRP)、Makerere University—Johns Hopkins University (MUJHU) プロジェクトの 3 大提携関係があり、この 3 つが Uganda Virus Research Institute (UVRI)、Medical Research Council (MRC)、Uganda Aids Commission および Ministry of Health と協力して仕事をしているが、主な作業はボランティアを採用しての HIV ワクチンの研究と、ワクチン試験の実行である。2007 年 1 月、IAVI は (週刊のオンライン・ワクチン・ニュースで)、2006 年に世界の 8 カ国で 13 種の新たな

予防試験が行われたことを報じた。これら試験のほとんどは、候補となるワクチンの安全性を評価すると共に、試験が被験者に誘発し得る免疫原性を評価することを目指す、第Ⅰ／Ⅱ相の試験であった。現在は世界中の 6 カ国で、30 件を上回る第Ⅰ相と第Ⅱ相の治験が進行している。ウガンダでは、HIV のワクチン研究の準備が 1988 年に始まり、IAVI により、Joint Clinical Research Center で 1999 年に初めての、また 2001 年に 2 度目のワクチン試験が実施された。現在のところ、IAVI の Principal Investigator で MRC の Basic Sciences プログラムの責任者でもある Dr. Pontiano Kaleebu が明らかにしているように、IAVI が第Ⅱ相 A の試験を実施している一方で、MUWRP は、マルチクレードの DNA とマルチクレードのアデノベクター・ワクチンを接種された被験者をモニターしている。IAVI と MUWRP がモニターしているワクチン試験はすべて成人に対して行われているが、ALVAC と呼ばれるワクチンを使っている MUJHU は、2006 年の暮れに乳児を参加させる別の試験をスタートさせ、それが現在も続いている。』[27a]

ウガンダ政府は 2007 年 5 月 15 日に、使い捨て可能だが再使用可能な注射器から、使用は「一度限り」で再使用不可能な使い捨て注射器に切り替えることを発表した。[27b]

Makerere 大学が、ウガンダでは引き続いて AIDS／HIV 研究の最前線に立っている。

「Makerere に本拠を置く研究者たちが、HIV／AIDS の母子感染を防ぐ薬品であるネビラピンなど、HIV／AIDS 研究を進めてきた。医学部の Infectious Diseases Institute は 26 カ国のアフリカ諸国からやってきた医学生や 1,200 名以上の医師、看護師、その他の医療サービス提供者に、HIV／AIDS の最新の予防法と治療法を訓練してきた。』[28c]

HIV／AIDS に関係する結核の管理に進展があった。[27e]

保健相の Dr. Otaala は、ウガンダにおける ARV (AIDS 関連レトロウィルス) の利用について次のように述べた。

「...国内で約 20 万人が ARV 治療を受けるべきであるのに対して、現在無料の医薬品を利用できるのは 9 万人である。彼は、11 万人が薬を受け取っていないことについては、大きな理由が 2 つあると説明した。『この数の半数が TB (結核) にかかっているためこの治療を受けられない一方で、その他の半数はテストを受けにくるほど感作していない。』」[28b]

Dr. Otaala は次のように、ウガンダで ARV が不足しているとも述べた。

「ウガンダの抗レトロウィルス薬治療計画は医薬品の不足に直面していると、一次医療担当の保健大臣である Emmanuel Otaala は述べた。International Aids Vaccine Initiative (IAVI) と Uganda Virus Research Institute (UVRI) が最近 Entebbe で企画開催した HIV Vaccine Awareness Day Celebrations の主賓として講演を行った同大臣は、毎月新たに 1,000 人の患者が ART 治療計画に登録するが、110 人程度は ARV の投与を受けられない、と述べた。およそ 9 万人のウガンダ人がこの計画のもとで ARV を利用しているが、この計画は患者の多さに圧倒されている、と大臣は語った。Dr. Otaala は、HIV ワクチンの研究に従事している科学者と、治験に応募したすべての人々を称賛した。』[27f]

東アフリカ諸国による 2006 年の ARV の消費について Global Insight が編集した 2006 年 9 月 20 日付の医薬品調査報告には、World Health Organization が出している HIV／AIDS 医薬品の事前審査通過リストに掲載されている医薬品が含まれていた。これらの医薬品は

WHO により、発展途上国政府に補助金を出すことが認可されているものである。報告は、次のように述べている。

「AIDS 薬市場の大半は主に、国が出資している、延命効果のある抗レトロウィルス薬の無料配布によって動いている。同地域にある諸政府は World Health Organization (WHO) の事前審査通過リストを指針として利用して薬を調達する傾向にあり、Clinton Foundation や Gates Foundation などの国際援助機関の介入のおかげで価格の割引を交渉することができてきた。つまり、市場の主体は分量主導型であるが、小規模ながら成長しつつある民間市場をも擁している。」[30a]

WHO は 2003 年 7 月付けで、Saquinavir のソフトジェル (Fortovase) とハードジェル (Invirase)、Lamivudine (Epivir) を含めて、ウガンダで手に入るものとして ARV の 18 種のブランド医薬品と 8 種のジェネリック医薬品の概略を示す報告書を作成した。この報告書には、Lamivudine が他の医薬品と組み合わせてある 3 種の医薬品も記載されている。[12c]

予防法

ウガンダ社会は、HIV/AIDS 予防方針の一環としてコンドームの使用を論議してきたが、*The East African* 紙は 2007 年 5 月 15 日付の記事で、政府の姿勢を次のように要約している。

「ウガンダ政府は、コンドームを使用するよりもセックスを控えるよう若者に説得することを重視する米国政府の HIV/AIDS 対策を熱心に受け入れてきた。Yoweri Museveni 大統領は、コンドームは「究極の解決策ではなく」、人間関係に対する「妨害」であると述べてきた。Kampala では、純潔を押し売りする宣伝が様々な種類のコンドームの宣伝をする広告に代わった。」[29a]

ただし、この記事は次のように付け加えてはいる。

「ウガンダ政府は、ウガンダで HIV/AIDS の罹患率が下がったことの功績の大部分として禁欲と貞節を挙げることを常に好んできたし、ウガンダ国民に性行動を変えるよう説得することは確かに違いを生み出してきた。例えば政府の調査によれば、15 歳から 18 歳の女子が処女である割合は、1995 年には 38 パーセントであったが、2004 年には 54 パーセントになった。しかし、コンドームが大きな役割を果たしたという証拠もある。国連によるある調査は、女性の間での禁欲率が 1989 年の 8 パーセントから 2000 年には 13 パーセントに上がったことを示しているが、その同じ期間に、女性が報告したコンドームの使用率は増加率がさらに高く、20%から 39%に上昇した。」[29a]

政府は最近、コンドームに関する政策を修正し、保健相の Dr. Emmanuel Otaala は公共の場所にコンドームを置くことを提案し、次のように述べたと 2007 年 5 月 21 日付の *New Vision* の記事は伝えている。

「一次医療担当の国務大臣 Dr. Emmanuel Otaala は、HIV/AIDS の広がりを抑えるために、公共の場所で配布するコンドームを増やすことを呼びかけた。『HIV ワクチン研究を支えるという我々の約束を新たにするに当たって、あらゆる公共の場所でコンドームを手に入れられるようにすることで、禁欲のできない人々の生命を救うべく努めよう。一部の人々が、命を救うことができる時にコンドームの使用は不道德だと考えることは間違っている。』」[28b]

HIV 感染のリスクを引き下げる方法として、男性の割礼が振興されてきた。[6d] IRIN が報じているように、セーフセックスというメッセージが HIV ポジティブの若者の行動を変える上で効果がないことが判明するかどうか懸念されている。[21a]

代替療法

ウガンダ政府は、薬草医[27c] およびキリスト教の神霊治療者[27d] に治療を求める人に対して警告を出した。

Global Fund の最新事情

汚職の申し立てを受けて 2002 年に中止された Global Fund が再開されて結核の治療の支払いを援助することになる、と 2007 年 5 月 30 日付の the Monitor は次のように報じている。

「Global Fund[以下 GF]は HIV/AIDS、マラリアおよび結核対策として、ウガンダにより多くの資金を提供することを受け入れた、と Stephen Mallinga 保健相は述べた。同基金は近く結核のために、第 6 回目の助成金として 2,600 万ドル(440 億シリング)を放出する予定である。」[27g]

3 名の元大臣は、Global Fund の資金の悪用に関係する汚職で起訴されることになっている。[6c]

[Return to Contents](#)

同性愛者

ウガンダにおける同性愛の非合法性

Human Rights Watch は、男色禁止法を次のように要約している。

「同性間の性的関係は、ウガンダではイギリスの植民地支配から受け継いだ男色禁止法に基づいて刑事罰の対象となっている。刑法第 140 条は、『自然の秩序に反した交接』を、終身刑を最高刑とする刑事罰の対象としている。第 141 条は、交接の「試み」を、懲役 7 年を最高刑として処罰する。第 143 条は「重大猥褻」行為を最高 5 年間の懲役で罰する。英国においてもウガンダにおいても、これらの用語は長い間、男性の間における合意の上での同性愛行為を意味するものと理解されていた。」[23a]

さらに、結婚は異性愛の結びつきとして定義されることを確実にするように憲法が修正され、男色禁止法のウェブサイトは 2005 年 7 月 7 日付の 326Gay.com のニュースサイトの、「ウガンダ、結婚する同性カップルを投獄」という記事を掲載している。この記事には次のように書かれている。

「政府の広報官、Bernard Eceru は Ugandan Newspaper に対して、『議会は同性同士の結婚を刑事罰の対象とするように憲法を修正する案を採択した』と語った。Eceru は、111 名の議員が修正に賛成票、17 名が反対票を投じ、3 名が棄権したと述べた...違反者に科せられる具体的な刑期は法案には含まれていないが、後日、ウガンダ刑法の修正に定められることになる、と Eceru は同紙に語った。」[24a]

同性愛者の逮捕

2006 年 9 月 8 日の Human Rights Watch は、次のように付け加えている。

「2002 年に、このタブロイド紙[Red Pepper]は、2 人の女性の間で行われたと言われている婚礼について、全段抜きの見出しと写真を掲載した。Kampala 警察は、直ちにくだんの女性 2 人を逮捕した。彼女たちは弁護士が介入すると解放されたが、群衆が彼女たちを脅すと、彼女ら自身の安全のためという名目で再び留置された。彼女たちに助言を与えたウガンダ人牧師はその後、国を出ることを余儀なくされた...204 年 10 月、同国の情報相の James Nsaba Buturo は警察に、ウガンダの Makerere 大学で組織されたといわれているゲイの協会について調査し、これに対して『適切な措置をとる』よう命令した。」[23a]

裁判所に提出された証拠の量

IGLHRC (International Gay And Lesbian Human Rights Commission) が 1999 年に出したある論文は、証拠に関して次のように述べている。

「ウガンダでは、『自然の秩序に反した』行為に関する法律に加えて、徘徊、『治安を乱す原因』や『怠惰で風紀を乱す』ことに関するその他の法律が用いられて、同性愛やトランスジェンダーという自己認識を公に示すことに対する取り締まりが行われている。」[26a] ウガンダ政府が公表した 1997-2001 年の犯罪統計は、同性愛について具体的な明細を示していない。[18b] 男色禁止法のウェブサイトは、「告発が行われることは稀である」と述べている。[24a]

同性愛者の行動の自由と暴露

メディア、特にタブロイド紙の Red Pepper のとった行動は、同性愛者の暴露の問題を提起し、Human Rights Watch は 2006 年 9 月 8 日の報道発表で次のように詳述した。

「[2006 年]8 月 8 日にタブロイド紙の Red Pepper は同性愛者と申し立てられた 45 名(すべて男性)のファーストネーム、職場その他の特定情報のリストを公表した。同紙は、『男色と言われるこの恐ろしい悪徳がわが国の社会をどれほど急速に蝕んでいるかを実証する』ことを望んでいるのだと述べた。同性愛は、アフリカでは『おかしいことと見なされている』。同性同士の性的関係はウガンダでは、英国の植民地支配から受け継がれた男色禁止法に基づいて刑事罰の対象となっている。匿名を希望した Red Pepper のある編集者は金曜に、BBC News に対して次のように述べて同紙を弁護した。『アフリカ社会では同性愛はいまでもおかしいことと見なされているため、人々がタブロイド紙で読みたがる話題の一つです』。この編集者は、同紙はこれまでに浮気をした夫または妻の名前を掲載したことがあり、彼らの知る限り、警察または公務員が掲載されたリストに基づいて措置をとったことはない、と付け加えた。この主張は Human Rights Watch (HRW) によって反駁され、HRW は、2002 年にこれと同様に行われた 2 名のレズビアン暴露が逮捕につながり、彼らに助言を行った牧師が国を後にすることを余儀なくされたと述べた。HRW は報道発表で、同性愛に対する取締りを促して政府高官や国営メディアがこれまでに行った声明をも列挙している。」[23a]

Human Rights Watch は、2007 年 10 月 11 日に発表した報告における行動の自由の問題に関する情報を書き換えた。新たな情報は次のように述べている。

「『Let Us Live in Peace (平和に暮らそう)』と呼ばれるキャンペーンを開始したウガンダの LGBT (性的マイノリティ) グループの連合による 8 月 16 日の記者会見は、国内で 1 ヶ月に及んだ反発につながった。ごく最近の[2007 年]9 月 9 日に、タブロイド紙の Red Pepper は、同性愛者と申し立てられた 39 名(すべて男性)のファーストネーム、職場その他の特定情報

のリストを公表した。『ホモの恐怖』という見出しのついたこの記事は、『町にいるトップクラスのゲイの名前を挙げて恥ずかしい思いをさせる』ことを約束するものであった。」

「これまでに、コンドームの使用と同性愛の双方に反対する著名な活動家のMartin Ssempea 牧師がウェブサイトにもウガンダのLGBTの権利擁護活動家の名前、写真と連絡情報を掲載して、彼らを『同性愛の振興者』と呼んだ。Ssempea牧師はKampalaで開かれた[2007 年]8 月 21 日の集会の中心的組織者で、この集会では数百名のデモ隊が同性愛行為を『自然の法則に反する犯罪行為』と呼んで、LGBTの人々を罰するための政府措置を要求した。」

[Return to Contents](#)

3. 主要な原文書の索引

(KB の利用者の方へ — 情報源番号をクリックすると、直接に文書にアクセスできます)

主なデータと地理	[1a]	Europa World Online, Location, Climate, Language, Religion, Flag, Capital http://www.europaworld.com/pub/
	[1a]	Europa World Online, Country Statistics http://www.europaworld.com/pub/
	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2c]	United States Department of State, Background Note: Uganda, last updated June 2007 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2963.htm
	[4a]	Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Uganda, last updated on August 2007 http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountryProfile&aid=1019745104836
	[6a]	BBC, Country Profile: Uganda, last updated on 16 August 2007 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069166.stm
	[8a]	Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook Uganda, last updated on 6 September 2007 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ug.html
	[11a]	Uganda Country Profile, UNDP, Human Development Report (HDR) 2006 http://hdr.undp.org/hdr2006/statistics/countries/country_factsheets/cty_fs_UGA.html
地図	[13a]	United Nations Cartographic Section, Map on Uganda. http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/uganda.pdf
歴史	[1a]	Europa World Online, Recent History http://www.europaworld.com/pub/
	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2c]	United States Department of State, Background Note: Uganda, last updated June 2007 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2963.htm
	[4a]	Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Uganda, last updated on August 2007 http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountryProfile&aid=1019745104836

歴史 つづき	[6a]	BBC, Country Profile: Uganda, last updated on 16 August 2007 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069166.stm
	[6b]	BBC Timeline: Uganda, last updated on 16 August 2007 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069181.stm
政治と最近の動向	[1a]	Europa World Online, Government and Politics http://www.europaworld.com/pub/
	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2c]	United States Department of State, Background Note: Uganda, last updated June 2007 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2963.htm
	[4a]	Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Uganda, last updated on August 2007 http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountryProfile&aid=1019745104836
	[6a]	BBC, Country Profile: Uganda, last updated on 16 August 2007 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069166.stm
	[6b]	BBC Timeline: Uganda, last updated on 16 August 2007 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069181.stm
	[3a]	Amnesty International (AI) report 2007: Uganda, covering events from January to December 2006 http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda
	[15a]	Freedom House, Freedom in the World 2007: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2007&country=7294
人権ー一般	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[4a]	Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Uganda, last updated on August 2007 http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountryProfile&aid=1019745104836
	[3a]	Amnesty International (AI) report 2007: Uganda, covering events from January to December 2006 http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda
	[15a]	Freedom House, Freedom in the World 2007: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=

		2007&country=7294
人権－具体的な問題点 (上記の一般的報告以外に、以下の問題点に関する情報が下記の文書で示されている)		
児童	[1a]	Europa World Online, Education (accessed on 17 September 2007) http://www.europaworld.com/pub/
	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2d]	United States Department of State, Trafficking in Persons Report, 12 June 2007 http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2007/82807.htm
	[17a]	The United Nations Children's Fund (UNICEF), background Uganda http://www.unicef.org/infobycountry/uganda_background.html
	[21b]	UN Office for the Co-ordination of Humanitarian Affairs, Integrated Regional Information Networks (IRIN) UGANDA: Violence taking toll on education in northeast, 8 November 2006 http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56289&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
	[22a]	Coalition to Stop the Use of Child Soldiers, Crossing Boundaries (2005) - Experiences of returning child soldiers in northern Uganda by Ben Mergelsberg, December 2005 http://www.child-soldiers.org/document_get.php?id=1110
北部ウガンダの紛争	[23b]	Human Rights Watch - "Get the Gun!" Human Rights Violations by Uganda's National Army in Law Enforcement Operations in Karamoja Region September 2007 http://hrw.org/reports/2007/uganda0907/
	[31a]	International Crisis Group - Northern Uganda Peace Process: The Need to Maintain Momentum 14 September 2007 http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=5078&l=1
死刑	[3a]	Amnesty International (AI) report 2007: Uganda, covering events from January to December 2006 http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda
民族集団	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2c]	United States Department of State, Background Note: Uganda, last updated June 2007 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2963.htm
	[4a]	Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Uganda, last updated on August 2007 http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket

民族集団つづき	[8a]	/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountrProfile&aid=1019745104836 Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook Uganda, last updated on 6 September 2007 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ug.html
宗教の自由	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[2b]	International Religious Freedom Report 2007, 14 September 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2007/90126.htm
言論とメディアの自由	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[7a]	Committee to Protect Journalists (CPJ) Africa 2006: Snapshot 2005: Uganda http://www.cpj.org/attacks05/africa05/snaps_africa_05.html#uga
	[10a]	Reporters sans Frontieres (Reporters without Borders): Uganda http://www.rsf.org/article.php3?id_article=17395&Valider=OK
	[15b]	Freedom House, Freedom of the Press 2006: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=251&country=7080&year=2006
人権擁護の団体、組織、および活動家	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[15a]	Freedom House, Freedom in the World 2007: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2007&country=7294
国内難民(IDP)	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[5a]	UNHCR, Uganda website http://www.unhcr.org/country/uga.html
	[21d]	UN Office for the Co-ordination of Humanitarian Affairs, Integrated Regional Information Networks (IRIN) UGANDA: 300,000 IDPs due home by year-end, refugee agency says, 25 October 2006 http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56056&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
司法	[1]	Europa World Online, Judicial System (accessed on 17 September 2007) http://www.europaworld.com/pub/

司法つづき	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[33a]	International Bar Association, 18 September 2007 http://www.ibanet.org/iba/article.cfm?article=129
同性愛者、両性愛者、およびトランスジェンダー	[3b]	Uganda: Lesbian, gay, bisexual and transgender people targeted, AI Index: AFR 59/006/2006 (Public) News Service No: 226, dated 29 August 2006 http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590062006?open&of=ENG-UGA
	[3c]	Uganda: Fear for Safety / Harassment, Public AI Index: AFR 59/007/2006 dated 8 September 2006 http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590072006?open&of=ENG-UGA
	[16a]	The International Lesbian and Gay Association (ILGA), Press Homophobia Raises Fears of Crackdown, 8 September 2006, http://www.ilga.org/news_results.asp?LanguageID=1&FileID=889&ZoneID=2&FileCategory=1
	[23c]	11 October 2007, Uganda: Rising Homophobia Threatens HIV Prevention: US Should Halt Role in Funding Prejudice and Fear http://hrw.org/english/docs/2007/10/11/uganda17081.htm
	[32a]	UGA102197.E Uganda: Treatment of homosexuals by society and government authorities; legal recourse and protection available to homosexuals who have been subject to ill-treatment (2005 - 2006), 23 February 2007 http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/index_e.htm?action=record.viewrec&gotorec=450956
医学的な問題点	[9a]	Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS), Country Profile: Uganda http://www.unaids.org/en/Regions_Countries/Countries/Uganda.asp
	[12a]	World Health Organisation (WHO), Mental Health Atlas 2005, Country Profiles: Uganda, Department of Mental Health and Substance Development http://www.who.int/globalatlas/predefinedReports/MentalHealth/Files/UG_Mental_Health_Profile.pdf
	[12b]	World Health Organisation (WHO), Country Profile: Uganda (accessed on 18 September 2007) http://www.who.int/countries/uga/en/
	[18a]	Ministry of Health: Health Infrastructure http://www.health.go.ug/health_units.htm
	[19a]	International Committee of the Red Cross (ICRC) Uganda Country page. http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/uganda?OpenDocument
	[19b]	International Committee of the Red Cross (ICRC)

医学的な問題点 つづき		Annual Report 2006: Uganda http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/738CDZ/\$FILE/icrc_ar_06_uganda.pdf?OpenElement [20a] Uganda activity report - 2006 18 December 2006 http://www.msf.org/msfinternational/invoke.cfm?objectid=95B3390B-5056-AA77-6C4F11083705F0D1&component=toolkit.article&method=full_html [20b] Doctors Without Borders/Médecins Sans Frontières (MSF), Uganda website http://www.msf.org/msfinternational/countries/africa/uganda/index.cfm UN Office for the Co-ordination of Humanitarian Affairs, Integrated Regional Information Networks (IRIN) [21c] UGANDA: Funding shortfall to affect health programmes, 7 November 2006 http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56276&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
軍隊	[1a] [14a] [22a]	Europa World Online, Defence (accessed on 17 September 2007) http://www.europaworld.com/pub/ War Resisters' International (WRI), Uganda: Refusing to Bear Arms, 11 September 1998 http://www.wri-irg.org/co/rtba/uganda.htm Coalition to Stop the Use of Child Soldiers, Crossing Boundaries (2005) - Experiences of returning child soldiers in northern Uganda by Ben Mergelsberg, December 2005 http://www.child-soldiers.org/document_get.php?id=1110
政治的所属	[2a] [15a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm Freedom House, Freedom in the World 2007: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2007&country=7294
刑務所の状況	[2a] [15a] [3d]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm Freedom House, Freedom in the World 2007: Uganda http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2007&country=7294 Uganda: Detainees tortured during incommunicado detention, Public AI Index: AFR 59/006/2007 dated 14 September 2007 http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590062007?open&of=ENG-UGA
治安部隊	[1a]	Europa World Online, Defence (accessed on 17 September 2007) http://www.europaworld.com/pub/

治安部隊つづき	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
テロリズム	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[3a]	Amnesty International (AI) report 2007: Uganda, covering events from January to December 2006 http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda
	[21b]	UN Office for the Co-ordination of Humanitarian Affairs, Integrated Regional Information Networks (IRIN) UGANDA: Violence taking toll on education in northeast, 8 November 2006 http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56289&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
女性	[2a]	United States Department of State, Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm
	[3a]	Amnesty International (AI) report 2007: Uganda, covering events from January to December 2006 http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda

Return to Contents

4. 参考となる原資料

- [1] **Europa World Plus** <http://www.europaworld.com/pub/>
a Europa World Online: Uganda
Date accessed 18 September 2007
- [2] **United States Department of State (USSD)** <http://www.state.gov>
a Country Report on Human Rights Practices for 2006, 6 March 2007
<http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2006/78763.htm>
Date accessed 12 September 2007
b International Religious Freedom Report 2007, 14 September 2007
<http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2007/90126.htm>
Date accessed 17 September 2007
c Background Note: Uganda, last updated June 2007
<http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2963.htm>
Date accessed 17 September 2007
d Trafficking in Persons Report, 12 June 2007
<http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2007/82807.htm>
Date accessed 17 September 2007
- [3] **Amnesty International (AI)** <http://www.amnesty.org/>
a Annual Human Rights report 2007: Uganda, Covering events from January to December 2006
<http://thereport.amnesty.org/eng/Regions/Africa/Uganda>
Date accessed 17 September 2007
b Uganda: Lesbian, gay, bisexual and transgender people targeted, AI Index: AFR 59/006/2006 (Public) News Service No: 226, dated 29 August 2006
<http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590062006?open&of=ENG-UGA>
Date accessed 18 September 2007
c Uganda: Fear for Safety/ Harassment, Public AI Index: AFR 59/007/2006 dated 8 September 2006
<http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590072006?open&of=ENG-UGA> Date accessed
Date accessed 18 September 2007
d Uganda: Detainees tortured during incommunicado detention, Public AI Index: AFR 59/006/2007 dated 14 September 2007
<http://web.amnesty.org/library/Index/ENGAFR590062007?open&of=ENG-UGA>
Date accessed 18 September 2007
- [4] **Foreign and Commonwealth Office (FCO), UK**
<http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029390554>
a Country Profile: Uganda, last updated August 2007
<http://www.fco.gov.uk/servlet/Front?pagename=OpenMarket/Xcelerate/ShowPage&c=Page&cid=1007029394365&a=KCountryProfile&aid=1019745104836>
Date accessed 18 September 2007
- [5] **United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR)**
<http://www.unhcr.org>
a Uganda website
<http://www.unhcr.org/country/uga.html>
Date accessed 18 September 2007

- [6] **British Broadcasting Corporation (BBC)** <http://www.bbc.co.uk/>
- a Country Profile: Uganda, last updated 16 August 2007
http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069166.stm
Date accessed 13 September 2007
 - b Timeline: Uganda, last updated 16 August 2007
http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1069181.stm
Date accessed 13 September 2007
 - c BBC News, 1 May 2007, Arrest call over Uganda AIDS fund
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/6613071.stm>
Date accessed 20 September 2007
 - d BBC News, 3 January 2007, Ugandan men get circumcised
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/6227533.stm>
Date accessed 20 September 2007
- [7] **Committee to Protect Journalists (CPJ)** http://www.cpj.org/regions_06/africa_06/africa_06.html#ugand
- a Snapshot 2006: Uganda
<http://www.cpj.org/attacks06/africa06/uga06.html>
Date accessed 19 September 2007
- [8] **Central Intelligence Agency (CIA), USA** <https://www.cia.gov/cia/publications/factbook/index.html>
- a Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook Uganda, last updated on 6 September 2007 <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ug.html>
Date accessed 13 September 2007
- [9] **Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS)** <http://www.unaids.org/en/>
- a Country Profile: Uganda
<http://www.unaids.org/en/Regions/Countries/Countries/Uganda.asp>
Date accessed 18 September 2007
- [10] **Reporters sans Frontieres (Reporters without Borders)** <http://www.rsf.org>
- a Annual Report 2006: Uganda (*Note: no Uganda section in 2007 report*)
http://www.rsf.org/article.php3?id_article=17395&Valider=OK
Date accessed 19 September 2007
- [11] **United Nations Development Programme (UNDP)** <http://www.undp.org/>
- a Uganda Country Profile, 2006 Human development report
http://hdr.undp.org/hdr2006/statistics/countries/country_fact_sheets/cty_fs_UGA.html
Date accessed 19 September 2007
- [12] **World Health Organisation (WHO)** <http://www.who.int/en/>
- a Mental Health Atlas 2005, Country Profiles: Uganda, Department of Mental Health and Substance Development
http://www.who.int/globalatlas/predefinedReports/MentalHealth/Files/UG_Mental_Health_Profile.pdf Date accessed 18 September 2007
 - b Country Profile: Uganda
<http://www.who.int/countries/uga/en/>
Date accessed 18 September 2007
 - c Scaling up antiretroviral therapy: Experience in Uganda
http://www.who.int/hiv/pub/prev_care/en/Uganda_E.pdf
Accessed 3 September 2007

- [13] **United Nations Cartographic Section**
<http://www.un.org/Depts/Cartographic/english/htmain.htm>
a Uganda
<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/uganda.pdf>
Date accessed 19 September 2007
- [14] **War Resisters' International** <http://www.wri-irg.org/from-off.htm>
a Uganda: Refusing to Bear Arms, 11 September 1998
<http://www.wri-irg.org/co/rtba/uganda.htm>
Date accessed 17 September 2007
- [15] **Freedom House** <http://www.freedomhouse.org/>
a Freedom in the World 2007: Uganda
<http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2007&country=7294> Date accessed 18 September 2007
b Freedom of the Press 2006: Uganda
<http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=251&country=7080&year=2006> Date accessed 18 September 2007
- [16] **The International Lesbian and Gay Association (ILGA)**
http://www.ilga.org/countries_target.asp?ZoneID=2&CountryID=219
a Press Homophobia Uganda: Press Homophobia Raises Fears of Crackdown, 8 September 2006, Human Rights Watch report accessed via ILGA.
http://www.ilga.org/news_results.asp?LanguageID=1&FileID=889&ZoneID=2&FileCategory=1
Date accessed 10 November 2006
- [17] **The United Nations Children's Fund (UNICEF)**
<http://www.unicef.org/infobycountry/uganda.html>
a Background: Uganda
http://www.unicef.org/infobycountry/uganda_background.html
Date accessed 18 September 2007
- [18] **The Republic of Uganda**
a Ministry of Health: Uganda, Health Infrastructure
http://www.health.go.ug/health_units.htm
Date accessed 13 November 2006
b Republic of Uganda, Justice Law and Order section,
<http://www.jlos.go.ug/reports.php>
Date accessed 14 February 2007
c Uganda AIDS Commission
<http://www.aidsuganda.org/>
Date accessed 1 June 2007
- [19] **International Committee of the Red Cross (ICRC)** <http://www.icrc.org>
a Uganda Country page.
<http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/uganda?OpenDocument>
Date accessed 18 September 2007
b Annual Report 2006: Uganda
[http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/738CDZ/\\$FILE/icrc_ar_06_uganda.pdf?OpenElement](http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/738CDZ/$FILE/icrc_ar_06_uganda.pdf?OpenElement)
Date accessed 18 September 2007

- [20] **Doctors Without Borders/Médecins Sans Frontières (MSF),**
<http://www.msf.org/>
 a Top ten under-reported humanitarian stories of 2005, 12 January 2006
<http://www.msf.org/msfinternational/invoke.cfm?objectid=BE9D3CA3-A88C-5381-2B0F0FDC6FE53946&component=toolkit.report&method=full> html
 Date accessed 13 November 2006
 b Uganda website
<http://www.msf.org/msfinternational/countries/africa/uganda/index.cfm>
 Date accessed 19 September 2007
- [21] **UN Office for the Co-ordination of Humanitarian Affairs, Integrated Regional Information Networks (IRIN)** <http://www.irinnews.org/>
 a IRIN PlusNews, Safe sex messages missing HIV-positive youth, 24 May 2007
<http://www.plusnews.org/Report.aspx?ReportId=71782>
 Date accessed 1 June 2007
 b UGANDA: Violence taking toll on education in northeast, 8 November 2006
http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56289&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
 Date accessed 13 November 2006
 c UGANDA: Funding shortfall to affect health programmes, 7 November 2006
http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56276&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
 Date accessed 13 November 2006
 d UGANDA: 300,000 IDPs due home by year-end, refugee agency says, 25 October 2006
http://www.irinnews.org/report.asp?ReportID=56056&SelectRegion=East_Africa&SelectCountry=UGANDA
 Date accessed 13 November 2006
- [22] **Coalition to Stop the Use of Child Soldiers**
<http://www.child-soldiers.org/regions/country.html?id=222>
 a Crossing Boundaries (2005) - Experiences of returning child soldiers in northern Uganda by Ben Mergelsberg, December 2005
http://www.child-soldiers.org/document_get.php?id=1110
 Date accessed 18 September 2007
- [23] **Human Rights Watch**
 a 8 September 2006,
http://hrw.org/english/docs/2006/09/08/uganda14154_txt.htm
 Date accessed 18 September 2007
 b September 2007, "Get the gun!": human rights violations by Uganda's national army in law enforcement operations in Karamoja region
<http://hrw.org/reports/2007/uganda0907/>
 Date accessed 20 September 2007
 c 11 October 2007, Uganda: Rising Homophobia Threatens HIV Prevention: US Should Halt Role in Funding Prejudice and Fear
<http://hrw.org/english/docs/2007/10/11/uganda17081.htm>
 Date accessed 16 October 2007
- [24] **Sodomy Laws**
 a 365.com, 7 July 2005,
<http://www.sodomylaws.org/world/uganda/ugnews026.htm>
 Date accessed 18 September 2007

[25] The Guardian (London)

- a Uganda is the new Zimbabwe
http://commentisfree.guardian.co.uk/peter_tatchell/2006/09/uganda_gays_are_the_problem_no.html
Date accessed 12 February 2007

[26] International Gay and Lesbian Human Rights Commission (IGLHRC)

- a 1 November 1999, Arrests of gay men have begun in Uganda,
<http://www.iglhrc.org/site/iglhrc/section.php?id=5&detail=184>
Date accessed 14 February 2007

[27] The Monitor, Kampala

- a 15 May 2007, Uganda: 10 years of HIV vaccine tests (Via Lexis-Nexis)
Accessed 1 June 2007
- b 15 May 2007, Govt phases out disposable syringes (Via Lexis-Nexis)
Accessed 1 June 2007
- c 16 May 2007, Otaala warns herbalists on AIDS cure (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- d 19 May 2007, No HIV cures at crusades (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- e 22 May 2007, The Monitor, TB is not a death sentence for people living with HIV (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- f 23 May 2007, The Monitor, country short of ARVs (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- g 30 May 2007, The Monitor, Global fund to give Uganda 26m dollars to fight AIDS, malaria (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007

[28] New Vision, Kampala

- a 21 May 2007, HIV-Positive Children - Who is to Blame? (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- b 21 May 2007, 'Put Condoms in Public Places' – Minister (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007
- c 21 May 2007, Makerere Still Shines, Not Sinking (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007

[29] East African, Nairobi

- a 15 May 2007, Uganda: the condom debate (Via Lexis-Nexis)
Date accessed 1 June 2007

[30] Global Insight

- a Progress report on ARV consumption names Uganda, Kenya as leaders in East Africa, 20 September 2006, Via Lexis-Nexis,
Date accessed 4 September 2007

[31] International Crisis Group

- a Progress report on ARV consumption names Uganda [and] Kenya as leaders in East Africa, 20 September 2006, Via Lexis-Nexis,
Date accessed 20 September 2007

[32] Canadian Immigration and Refugee Board / Commission d'Immigration et du statut de réfugié du Canada www.cisr-irb.gc.ca/en/index_e.htm

- a UGA102197.E Uganda: Treatment of homosexuals by society and government authorities; legal recourse and protection available to homosexuals who have been subject to ill-treatment (2005 - 2006), 23 February 2007

http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/index_e.htm?action=record.viewrec&gotorec=450956
Date accessed 16 October 2007

- [33] **International Bar Association** www.cisr-irb.gc.ca/en/index_e.htm
a IBAHRI Visit to Uganda Uncovers Threats to Judicial Independence, 18 September 2007
<http://www.ibanet.org/iba/article.cfm?article=129>
Date accessed 16 October 2007

[Return to Contents](#)